

平成27年度砺波市男女共同参画市民委員会 会議要録

1	会議の名称	砺波市男女共同参画市民委員会
2	会議の日時	平成28年2月12日（金） 午後3時～午後4時30分
3	会議の場所	砺波市役所 3階 特別会議室
4	出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・委員 13名（三井会長、荒木委員、池田委員、大井委員、小西委員、境委員、里子委員、白山委員、杉浦委員、鈴木委員、田辺委員、藤澤委員、森委員） ・砺波市 4人（横山企画総務部長、島田企画調整課長、端谷広報協働係長、中村主任）
5	議題	砺波市男女共同参画推進計画（第3次）案 について
6	公開の明示及びその理由	公開
7	審議の概要	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 【企画総務部長】</p> <p>3 砺波市男女共同参画推進計画（第3次）（案） について</p> <p style="padding-left: 2em;">計画書（案）により説明-【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・策定の趣旨 ・位置づけと期間 ・市の現状と背景 ・アンケート調査の結果から ・基本理念 ・総合目標と将来像 ・基本目標 ・重要的取組事項 ・計画の体系 ・計画の特徴 ・計画の内容 ・計画の推進 <p>4 意見交換 以下のとおり</p> <p style="padding-left: 2em;">【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/9委員会の中でも言ったが、P27成果指標、アンケートの中でも「平等」→「公平」「平等・公平」 検討できないか。 <p style="padding-left: 2em;">【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回はアンケートの内容をそのまま成果指標としたので、言葉を換えることは出来ないが、5年後のアンケート調査に「公平」という言葉を使えば、成果指標にはそのように対応できる。若い方にもアンケートに答えていけるようにしていきたい。

【委員】

・成果指標とは何に対しての指標か？

施策によつての、女性の働く中での環境により就業率や意識が上がったとか変わったかとかか、女性が働く中での意識の改善によつて上がったものを表すものではないか。

・P37の実際に継続している活動と、成果指標の内容が一致していない。企業に働きかけるのであれば、企業の女性の就業率、意識、女性の活躍する場がどう変わったかというのが成果指標であると思う。

・サポートセンター、支援センター 数ではなく時間延長が大事。時間延長すると男性並みに働けるようになっていないのではないか、そうになっているか。それによつて正社員率が上がったかというのが成果指標であると思う、そのような数字が出ていれば、女性が活躍しているというのがわかりやすい。

【事務局】

・働き方を成果として表せればよいが、どのようにはかれば良いのか、現状と結果を表すとすれば今は行政の結果しか表せないでこのような結果となっている。まずは行政からを目標として率先して行く予定。今後も、成果指標の内容について検討する。

【委員】

・成果はアンケート結果のでも5年後でないとわからないのか？

計画して行って評価をして、解決策を考え、アクションを起こす。結果がでるのに5年後でないとわからないというのはどうか。

【事務局】

・5年後で判断するもの、毎年で判断するものもあると思う。毎年検証していかなければならないものもあるが、全部するのは困難。

【委員】

・5年後でないとわからないのではなく、例えば学校などで講座を開催するなど、成果がわかる目標を設定していかなければならないのではないかと。

【事務局】

・アンケートの結果を目標値としてあげているので、5年後という結果しかでない。このような目標だけではいけないという意見を受けて、学校に対しての講座の取組などや、毎年開催する男女共同参画推進のつどいの中でのアンケートの項目を増やし、毎年、意識の普及結果がわかるようなこともできると思うので考えていきたい。

【委員】

・具体的な取組 とありますが、あまり具体的ではない 数値や期日などそれぞれの施策において目標をつけられればよい。

【事務局】

・5年間の計画の中で、事業を具体的に明確にするのは難しく、このような考え方の事業に取り組みとういう意味でご理解願いたい。

【委員】

・ P61 112項目 担当課を企画調整課・健康センターのほか、教育総務課も含め、小学校高学年からの教育の指導の場でも取り組みが大切だと思う。

・ P58 102項目 新規の取組に対し福祉の立場からすると大事な取組だと思う。繰り返し啓発することにより広がっていく、意識も高まり根付いていく。以前よりもボランティアに対する意識が深まってきている。高齢者の共助に関しては現在具体的に準備をしている段階。

【事務局】

・ 大学生ぐらいの年齢を対象としていたが、小さい頃から啓発していくのは大事なので、学校においても実施できるように教育総務課とも連携させていきたい。

【委員】

・ アンケートの関係について

就業の現状については、PTA、子育てをしている保護者の方がほうが切実に感じられるのではないかと。PTA、母親クラブなど各種団体で、市の取組を入れたアンケートをとってはどうか。アンケートについても働く環境など意識を市側と共有し実施していくことで見えるようになっていけば良いと思う。現状のアンケートをとり問題点が2年3年と改善されているか、実施していく。

【委員】

・ PTAとしてアンケートをとるのは可能だが、総会などで実施し子どもを通じての回収は困難。各種団体、社福、長寿会など団体で抱える問題もあるので団体の中でのアンケートも共有してはどうか。市と、推進協議会と考えながら、設問を互いにみんなで考えていく。企業や一般向けでも、実際休みを取れやすいかなど具体的に記入してもらおうように設問し、多方面でとればどうか。

【事務局】

・ 各種団体の皆さんに協力していただきたい、数値を集めて傾向を見て施策を考えていきたい。

【委員】

・ 砺波市が日本一里がえり出産しやすいまちと言えるように。砺波市には総合病院あるし、開業医が多いうえ、サービスも良い。砺波には良い素材がたくさんあるので、視点を変えて計画すると良くなると思う。

【委員】

・ 自治振興会の中では男女共同参画推進委員の活動はあまり知られていない。いろいろ活動がされているのは報告でわかったけれど、果たして市民はどれだけ知っているのだろうか。届いていない。印象が薄い。どういう形でもっと市民に伝わるのか、計画作りが目的ではなく、しっかり機能して進んでいかなければならないか、どのように啓発していくか、知ってもらうのか、ということではないか。

【事務局】

・砺波市はPR下手というのはよく指摘されるが、他市に比べていろいろ良い活動はたくさんしているけれど、どれも思ったより市民に理解されていない。皆さんとともにPRしていかなければならないと思っている。各種団体や活動に携わった方とともに協力していけたらと思っている。

【委員】

・自治振興会への活動はなかなか難しいとは思いますが、公民館祭りなど公民館の行事の中で、チラシを配るとか男女共同参画推進員が認識をもつての地道な活動になるかと思う。その中で働く母親たちが子育てしやすくなるように意見を反映していけたら良いと思う。地道な活動から広がっていけば良いと思う。

【事務局】

・推進員の方には、啓発活動など本当に努力をさせていただいている。地域の中での活動も一人から二人、二人から四人、うまくは広がりませんがじわじわと浸透していければいいと思う。その結果、男女共同参画の市民の意識の割合は前回より27.8ポイント上がったということで、市民の間にも皆さんの努力により浸透してきた結果ではないかと思う。引き続き情報発信も今以上に努力し、それぞれの団体でもこれまでと同様お願いしたい。

【委員】

・核家族、共働きの家庭にいる。こどもが小学生のときは親とこどもが一緒にいることが望まれる。勤めていると仕事が優先になり、こどもを後回しになることもあり罪悪感を感じたこともあった。延長保育の件では仕事をしたい、でもこどもとも一緒にいたいと思うのも本音です。個人個人が選べる雰囲気であつたらいいと思う。

5 今後の予定 **【事務局】**

- ・今後、ご意見・ご提案等があれば、様式を配布しているので、FAX・メール等で事務局へ提出願いたい。
- ・HPに計画書を載せ、パブリックコメントとして市民の方から意見をいただく予定。また、議会にも説明する。3月中に計画書を作成する。
- ・今後、計画案に対しご意見を受けて修正する場合は、三井会長に確認していただく。会長に一任していただきたい旨ご了解いただく。

6 閉会

8 会議の主管課及び問合せ先

砺波市企画総務部企画調整課 0763-33-1111 内線204
kikaku@city.tonami.lg.jp